

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	歯科大学等機能転換・活用促進モデル事業			担当部局庁	医政局		作成責任者				
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	平成33年度	担当課室	歯科保健課		課長：田口 円裕				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歯科医療機関を受診する高齢者や基礎疾患を有する者の増加に合わせた歯科医師の多様な働き方に対する支援や、出産や育児等で一時的に離職した者に対して円滑に職場に復帰できるような体制の整備が必要とされている。このため、歯科大学等で学生教育を行っている教員及び場所を、卒業生等に対する技術修練や進路相談や女性歯科医師に対する復職支援等に転換・活用するためのモデル事業を行う。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	歯科大学等において、歯科医師の多様なキャリアパスを支援する観点から、学生に対応している教員等の人員体制や実習の場所等を、卒業生等に対する技術修練や女性歯科医師の復職支援等に転換・活用するモデル事業を実施し、その際に要する設備整備や部門別調整等に係る費用を支援する。 なお、本事業においては、学生に対応するための人員体制や場所等の合理化に合わせた適切な入学定員の設定を考慮した上で、機能転換・活用を行うこととする。										
実施方法	補助										
予算額・ 執行額 (単位：百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	395				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		0	0	0	0	395				
	執行額		-	-	-	-	-				
執行率 (%)		-	-	-	-	-					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 29年度	目標最終年度 30年度	
	前年同程度の受講者を受け入れる。		転換事業(技術修練部門及びキャリアパス相談室)利用者数		成果実績	人	-	-	-	-	-
					目標値	人	-	-	-	精査中	-
					達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	転換事業(技術修練部門及びキャリアパス相談室)の実施日数			活動実績	日	-	-	-	-		
				当初見込み	日	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「技術修練部門及びキャリアパス相談室の実施日数」			単位当たりコスト	千円	-	-	-	-		
				計算式	X/Y	-	-	-	-		
平成28・29年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
	衛生関係指導者等養成委託費	-	395	「新しい日本のための優先課題推進枠」395							
	計	0	395								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること											
	施策	医療従事者の資質の向上を図ること(施策目標I-2-2)											
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度				
			実績値	-	-	-	-	-	-				
			目標値	-	-	-	-	-	-				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	歯科医師に対して、多様な働き方の推進や復職支援等のために最新の知識や技術修練の場を設けることで、より質の高い安全な歯科保健医療の提供につながることから、医療従事者の資質向上という目的に合致している。												
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-									
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
				成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-					
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度				
			成果実績	-	-	-	-	-	-				
			目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													
事業所管部局による点検・改善													
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明								
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	歯科医師の多様な働き方の推進や復職支援等に取り組むことを目的としており、社会のニーズを反映している。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	歯科医師の復職支援施策等に地域間で格差等が生じないように、国費を投入して取り組む必要がある。								
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	今後の高齢者や基礎疾患を有する者の増加に合わせた歯科医師を養成するために行うものであり、優先度の高い事業である。								
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-									
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無									
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無									
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-									
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-									
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-									
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-									
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-									
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-									
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-									
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-									
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-									
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-									
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-									
	所管府省・部局名	事業番号	事業名										
点検・改善結果	点検結果	-											
	改善の方向性	-											

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

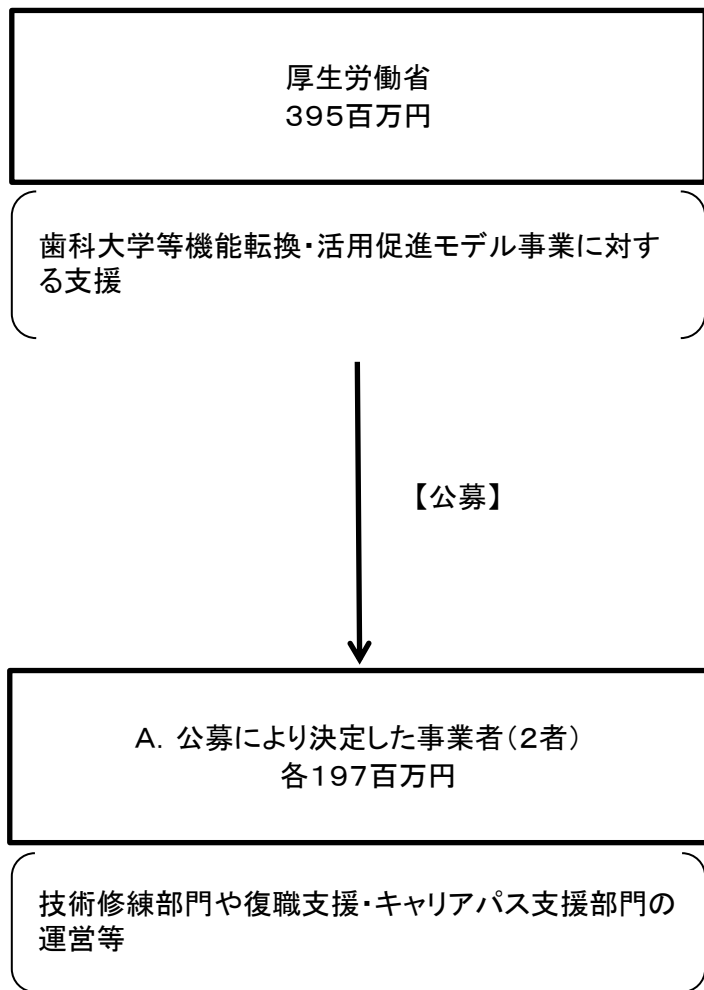
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

